

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-119083

(43)Date of publication of application : 21.05.1991

(51)Int.Cl.

C09J 7/00

B43L 19/00

C09J 5/00

(21)Application number : 01-257601

(71)Applicant : NICHIBAN CO LTD

(22)Date of filing : 02.10.1989

(72)Inventor : NAKAHARA YOSHIKI

(54) TACKY ADHESIVE TAPE AND HOLDER OF TACKY ADHESIVE TAPE

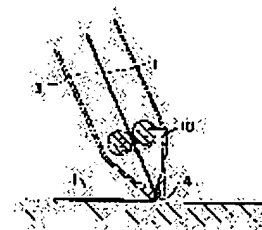
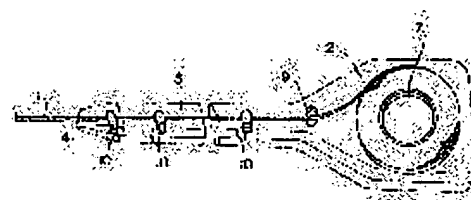
(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the subject holder capable of delivering a tacky adhesive tape in the form of a thin string or strip as if in a manner to draw a line with a drawing utensil and enabling the application of the adhesive tape even in a narrow space by forming a tacky adhesive tape delivery part having a narrow width and a tape-holding part in a form holdable similar to a writing utensil.

CONSTITUTION: A tacky adhesive tape 1 is supported by passing the supporting shaft 8 of a holding part 2 through the core 7 of the tape.

The rewound tape is turned 90° by passing through a vertical roller 9, guided to a roller 10, passed through a delivery part and delivered outside through the hole 4 at the tip end. The delivery part is held by a hand and the tip of the delivery part is applied to the correcting part and moved in a similar manner as to draw a line. The roller contacting with the tacky adhesive layer of the tape is preferably made of a

releasable material such as PE or silicone and the substrate side roller is preferably made of a cushioning material such as rubber.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

⑫ 公開特許公報 (A)

平3-119083

⑤Int. Cl. ⁵

識別記号

室内整理番号

④³公開 平成3年(1991)5月21日

C 09 J 7/00

JHC

7038-4 J

B 43 L 19/00

JGT

6976-2 C

C 09 J 5/00

7921-4 J

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑤4発明の名称 粘着テープ及び粘着テープホルダー

②特 願 平1-257601

②出 願 平 1 (1989)10月 2 日

⑫発 明 者 中 原 良 材 東京都千代田区九段南2丁目2番4号 ニチパン株式会社
内

⑦出 願 人 ニチバン株式会社 東京都千代田区九段南2丁目2番4号

⑦⁴代理人 弁理士 井上 清子 外1名

明 細 書

1 発明の名称 粘着テープ及び粘着テープホルダー

2 特許請求の範囲

1. 巾を狭く形成した粘着テープを納める収納部を設け、該収納部に連通し上記粘着テープを周りから取り囲みつつ外方へ案内する導出部を細筒状に形成し、該導出部及び／又は収納部を筆記具様に把持可能に形成した粘着テープホルダー。

2. 文字等の訂正に使用する基材の一面に粘着剤層を形成した粘着テープを設け、該テープの巾を1～3mmの狭い巾のものとしたことを特徴とする文字の訂正用の粘着テープ。

3 発明の詳細な説明

(発 明 の 目 的)

本発明は、粘着テープ及び粘着テープホルダーに関するものである。

従来、印刷物、書類、タイピング中の文字等の訂正には、白い泥状の修正液を刷毛で塗るようにしているが、この修正液は紙の表面から不均一に

盛り上がるので、この上から新たに文字等を書くことが難しいし、この修正液は乾燥後に硬く固化するから、ひび割れたり更に剝離することがあった。こうしたことから、この修正液に代えて訂正用のテープを貼って訂正を行うものが現れたが、手で貼る必要からテープの巾は通例 8 mm、12 mm、18 mm、24 mm 程度のものであり、巾の狭いものでも 4 mm とか 6 mm とかであるから、6 ポイントや 8 ポイントのような小さい文字や間隔が狭いような場合には、相変わらず修正液を塗ることによって訂正しているが、狭く、細くなればなる程その刷毛塗りは行い難くなって、きれいに仕上げるのが難しい。

(發明の構成)

本発明は、粘着テープを細い線状または条状を
為すように形成し、またこの粘着テープを納めた
収納部から筒状の導出部を経て外方へ導き、この
導出部等を持って線を引くかのように粘着テープ
を引出しながら貼付けできるようにするものであ
る。

以下実施例と共に説明すれば、基材に一面に粘着剤層を形成した粘着テープ1は、その横巾が例えば4ポイント、6ポイント、8ポイント、9ポイントや6号、7号、8号等の小さな活字の大きさに対応することができるように、その巾を約1～3mm程度の細い巾に形成している。図示のものは、基材を紙とし、これに再剥離性の粘着剤層を設けて訂正用のテープとしている。

この粘着テープ1は収納部2内に支持され、巻戻されるテープは導出部3を通して孔4から外方へ引き出される。図示のものは、プラスチックその他の適宜材料で収納部と導出部が一体的に形成され、これが二つ割5、6にされて開閉することができるようになっており、上記導出部は鉛筆、万年筆程度の握り易い太さと長さの筒状にされている。

上記粘着テープ1は、その巻心7を収納部2の架軸8に挿通して支持し、巻戻したテープは縦ローラー9を通り90度回転され、さらにローラー10に案内されて導出部を通り、先端部の孔4から引き出される。

第5図のものは、テープを途中で90度回転させることなく引き出すようにしたもので、導出部の外面部のガイド11に案内され、スライダ12によって移動可能なカッター13を設けており、所望の個所に貼付けが済んだ後に、このカッターを押し出してテープを切るようにすることができる。

第6図、第7図には、更に他の実施例が示されている。これは、上記収納部2を円錐状にし、その先に円筒状の導出部3を設けたもので、粘着テープはねじ込み14する収納部の底蓋15に設けた架軸16に回転可能に支持し、その上から蓋板17を被せてねじ止め18し、上記固定された蓋板17の切孔19から引き出すようにしており、さらにローラー10を通り、導出部を経て先端部から繰り出される。上記導出部には蓋20を設けて開閉することができるようにしており、このホルダーは机等の上に立てておいて使用することができる。

ら外方に引き出される。上記ローラーは、テープの粘着剤層に接するものはポリエチレン、シリコンなどの剥離性のあるローラーがよく、基材側はゴムなどのクッション性のあるローラーを使用することが好ましい。

これを使用する場合、上記導出部を手を持ち、その先端部を訂正する個所に当てて線を引くかのように動かせば、線状または条状の細いテープが順次繰り出されながら貼付されて行くので、細かい字も、狭い個所の訂正も容易に行うことができる(第4図)。このホルダーで使用する粘着テープは、上記訂正用のテープの他、セロファンテープ、プラスチックテープ、金属箔テープ、紙テープ、布テープなどの各種の粘着テープを使用することができる。また、上記導出部に設けたローラー10は、その数を増したり、減らしたりして適宜数設けることができるし、このローラーの代わりに導出部や収納部の内面をギザギザの山形状に形成すること等により、粘着テープが導出部などの内面に付着しないようにして、引き出しを容易

第8図に示すものは、円筒状の巻芯21にボビン巻きした粘着テープを回転可能に支持し、円筒の両端に独奏を付けたようなガイドローラー22を介してテープを引き出すようにしたものである。

第9図に示す例は、収納部と導出部を一体にし、全体を鉛筆横にして半割り23することができるようにしており、細い円筒状の巻芯24にボビン巻きした細い粘着テープを、内部に回転可能に支持させたものである。

(発明の効果)

本発明は上記したように、細い線状または条状の粘着テープが、あたかも筆記具で線を引くようにして繰り出され、これを狭い所に貼付することができるので、細かい文字の訂正が、容易に、随時に行うことができ使い易く、ホルダーの構造も簡素で経済的である。

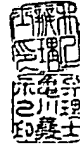
4 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示し、第1図は粘着テープの斜断面図、第2図は粘着テープホルダーの斜断面図、第3図はその説明図、第4図は使用状態の

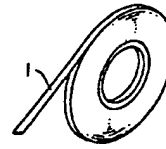
説明図、第5図は他の例の一部省略断面図、第6図はその他の例の斜断面図、第7図はその一部省略断面図、第8図は他例の一部省略断面図、第9図は更に他例の一部省略断面図である。

1:粘着テープ 2:収納部 3:導出部
4:孔 10:ローラー 13:カッター
15:底蓋 19:切孔 22:ガイドローラー

特許出願人 ニチバン株式会社
代理人弁理士 井上 清子
代理人弁理士 亀川 義示



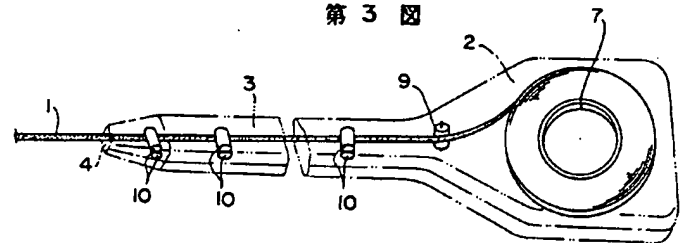
第1図



第2図

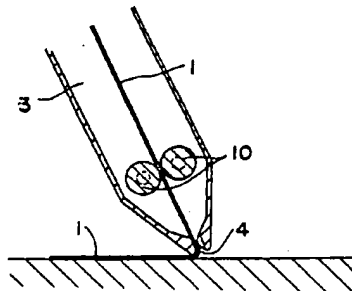


第3図

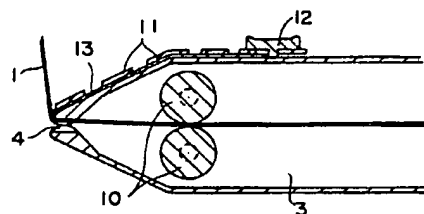


2078

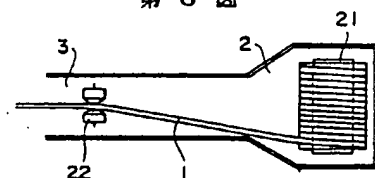
第4図



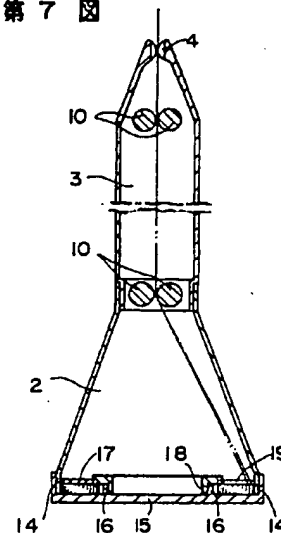
第5図



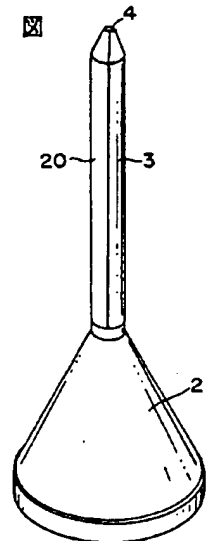
第8図



第7図



第6図



第9図

